

参考資料

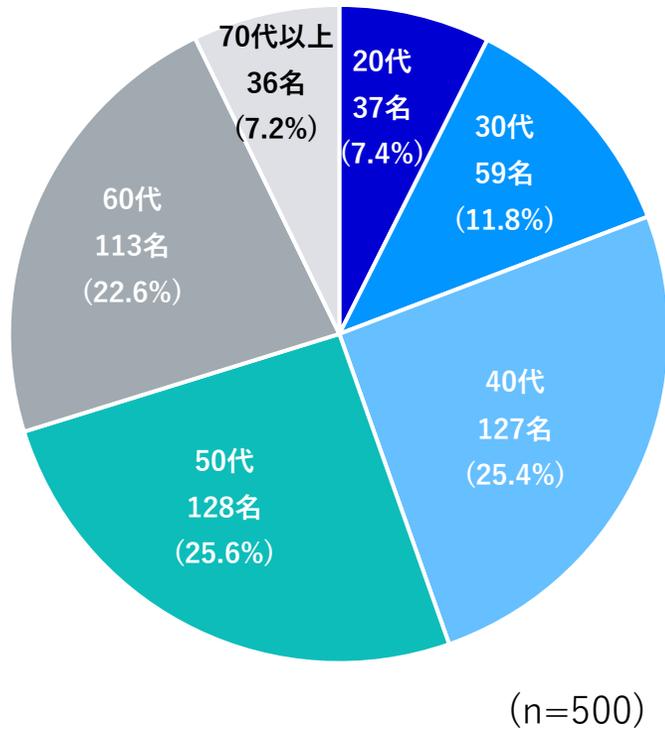
がん患者のケアラー500名の意識調査結果 ～多発性骨髄腫（血液がん）ケアラーの実情～

本日11月10日16時配信予定

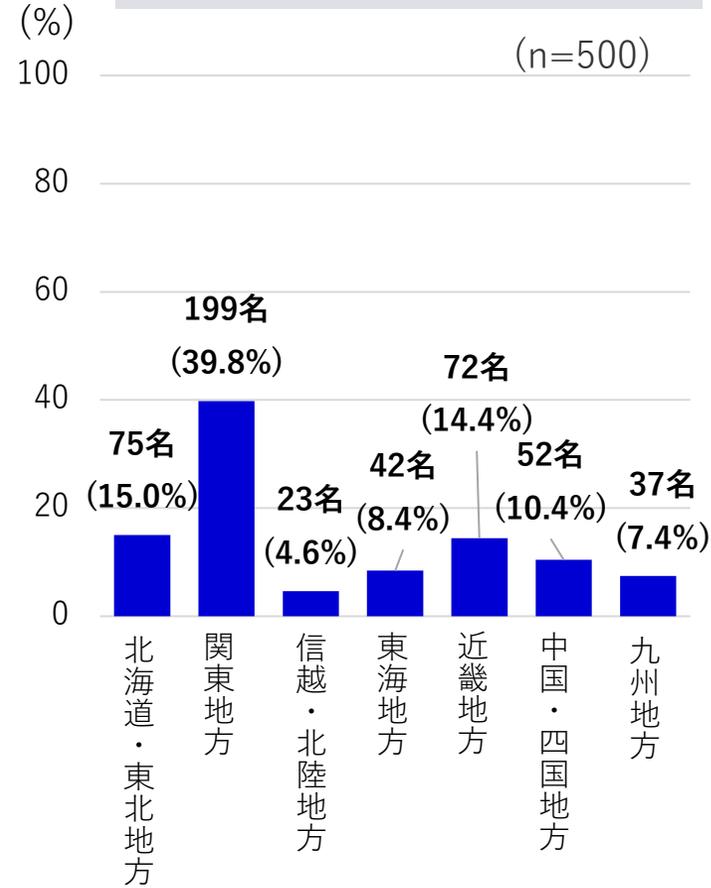
2025年11月
ファイザー株式会社

| 回答者プロフィール

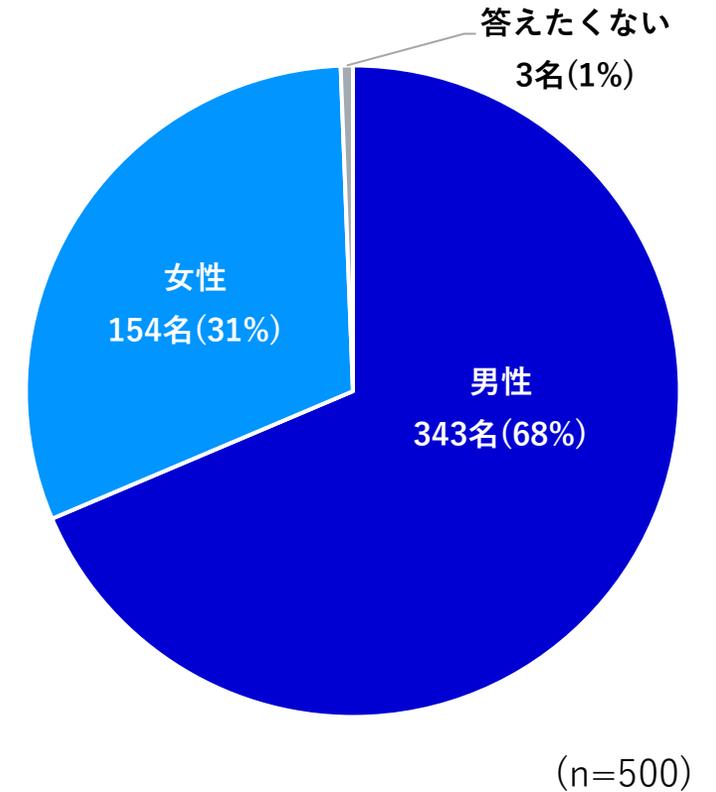
年齢



居住地



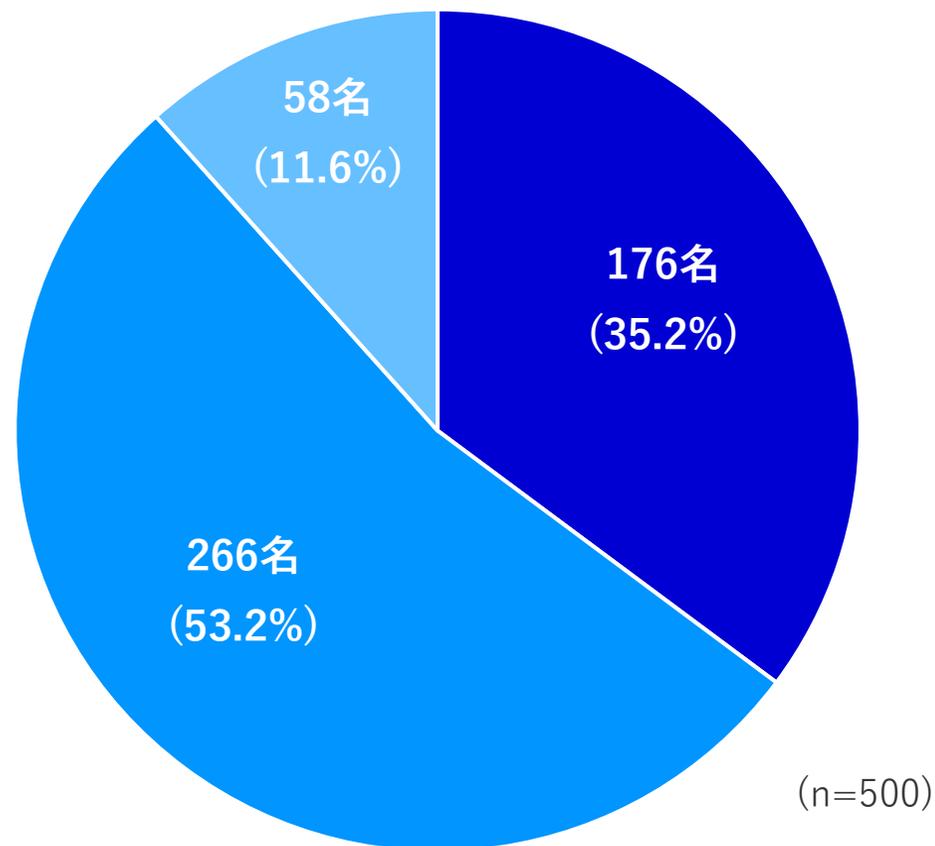
性別



多発性骨髄腫患者と回答者の居住状況

Q：最近1年間に、あなたは、医師から「多発性骨髄腫」と診断されたことがある患者さんと接したことがありますか？

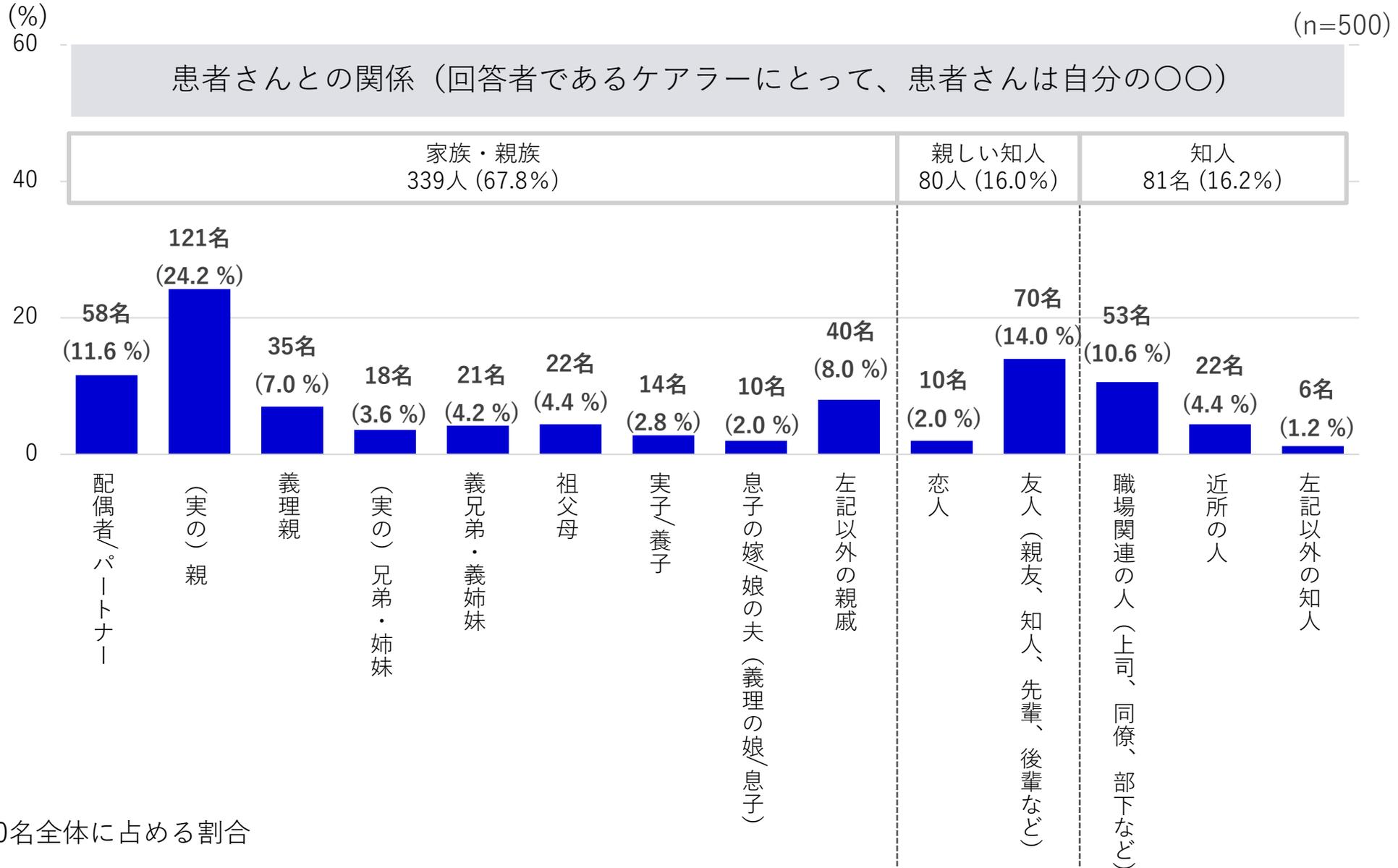
- 同居（敷地内同居）者にいる（いた）
- 直接対面で接したことがある（会ったことがある）
- （対面で接したことはないが）
対面以外で接したことがある
（電話やメール、LINEなどの
SNS、ブログ など）



多発性骨髄腫患者との関係



Q：最近1年間に交流があった多発性骨髄腫の患者さんについて、あなたとのご関係をお教えてください。



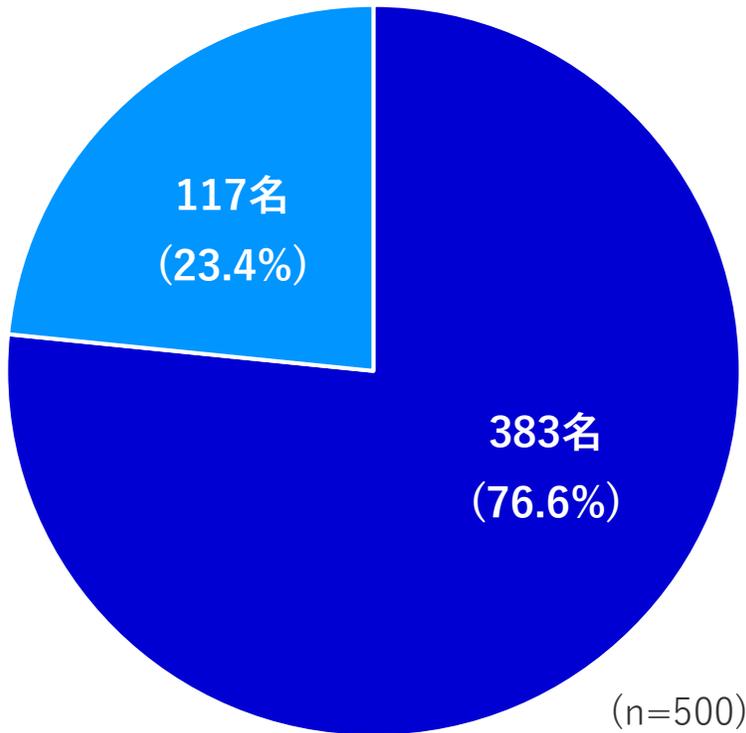
※%は500名全体に占める割合

多発性骨髄腫患者の治療状況

Q：最近1年間にあなたと交流があった多発性骨髄腫の患者さんは、多発性骨髄腫と診断されてから今までに、多発性骨髄腫のための治療をしたことがありますか。

多発性骨髄腫患者の 治療経験有無

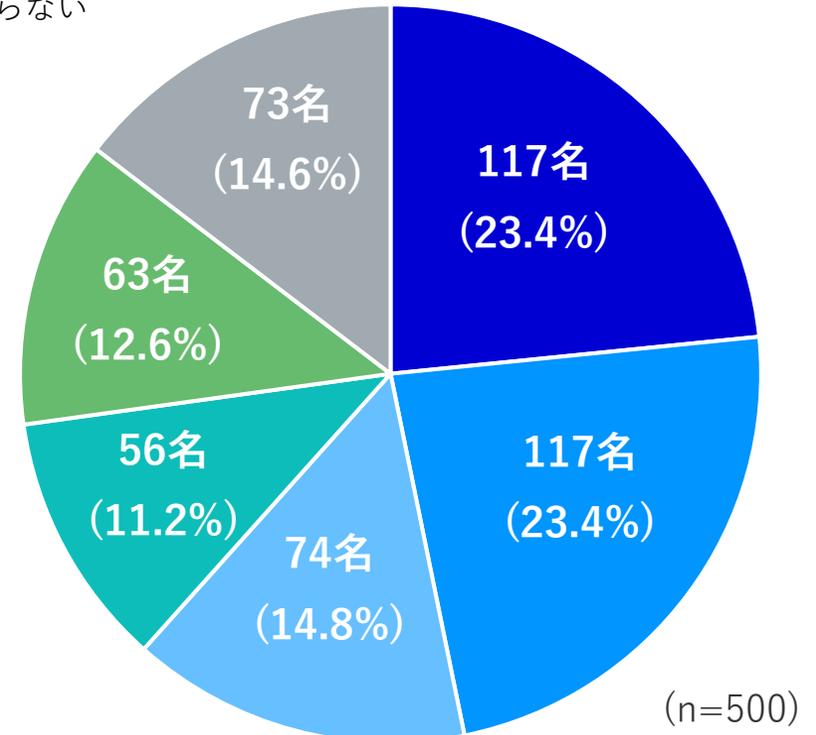
- 治療をしたことがある
- まだ治療をしていない（開始していない）が、現在、治療開始に向けて準備中である



Q：あなたが交流している多発性骨髄腫の患者さんについて、現在（直近のあなたとの交流時）の治療状況（段階）をお教えてください。

多発性骨髄腫患者の 現在の治療状況

- 治療開始前（準備中）
- 初発の治療中（診断後、最初の治療を実施中）
- 再発後の治療中
- 初発/再発は不明だが、治療中
- 経過観察中（治療はしておらず、定期的な診療、検査のみ実施）
- わからない



多発性骨髄腫患者の治療状況

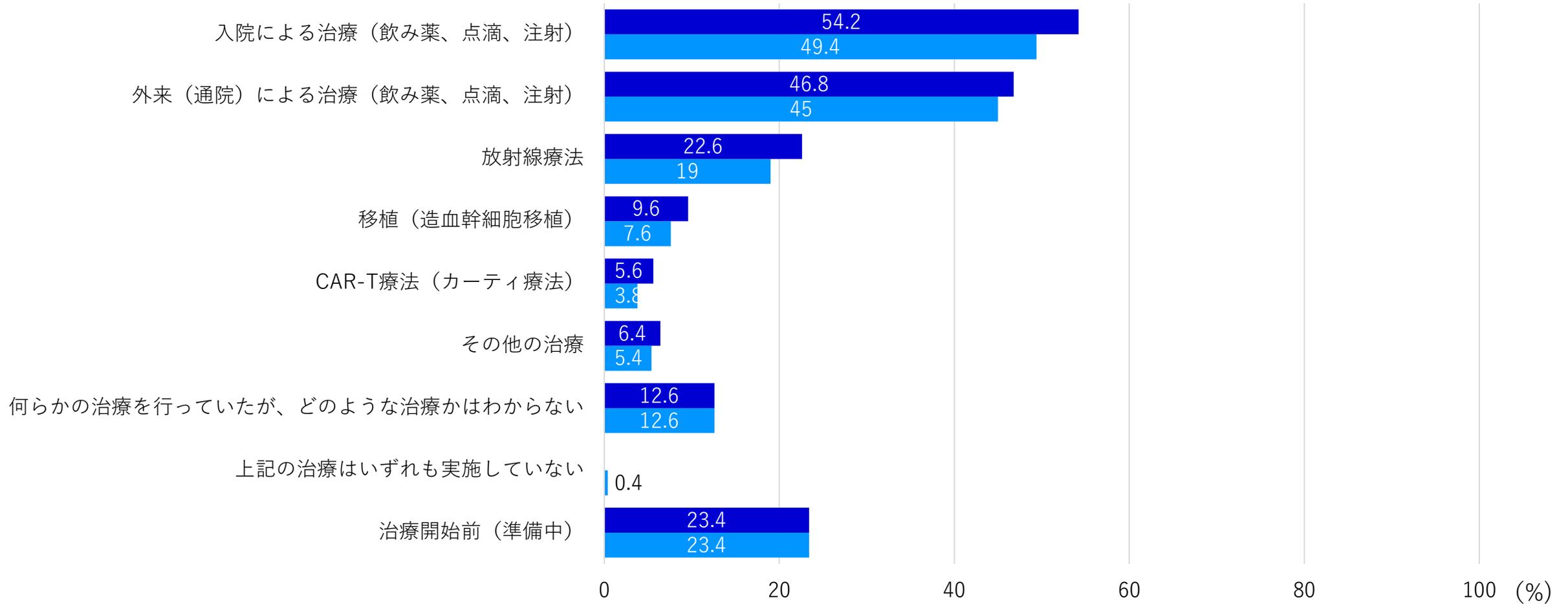
Q：あなたが交流している多発性骨髄腫の患者さんが、今までに実施したことがある治療を全てお教えてください。

Q：そのうち、あなたと交流がある期間に実施していた治療を全てお教えてください。

多発性骨髄腫患者の治療歴

■ 今までに実施したことがある治療 ■ 交流時に実施していたことがある治療

(n=500)



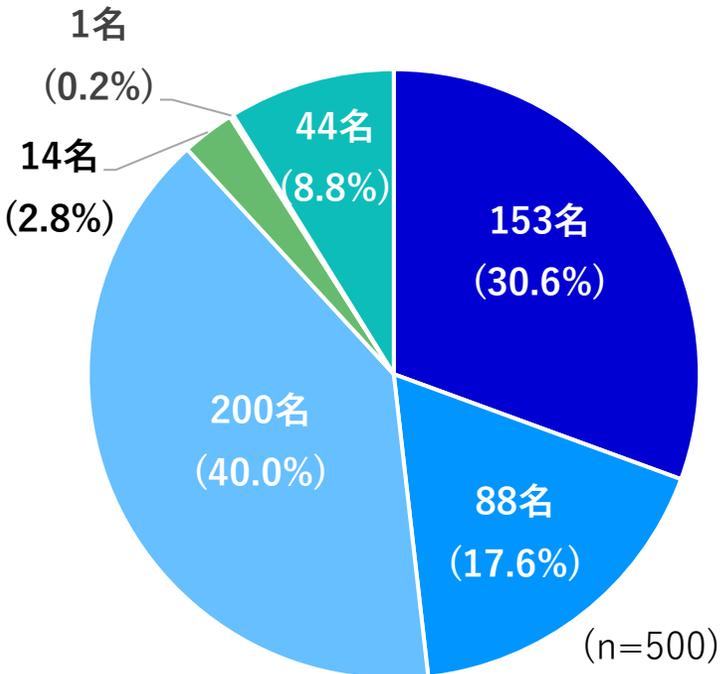
多発性骨髄腫患者の治療状況-通院について



Q：あなたが交流している多発性骨髄腫の患者さんが、現在（直近のあなたとの交流時）、多発性骨髄腫治療のために主に通っている医療機関（病院）をお教えてください。

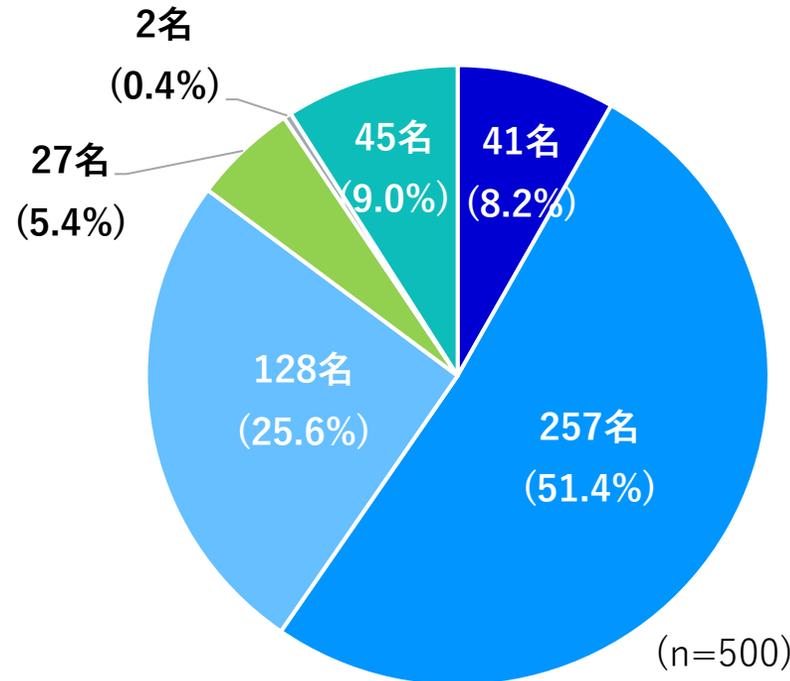
通院している病院

- 大学病院
- がんセンター
- 上記以外の入院施設がある病院（〇〇病院、〇〇総合病院など）
- 医院・クリニック・診療所（規模が比較的小さく、入院施設のない病院）
- その他



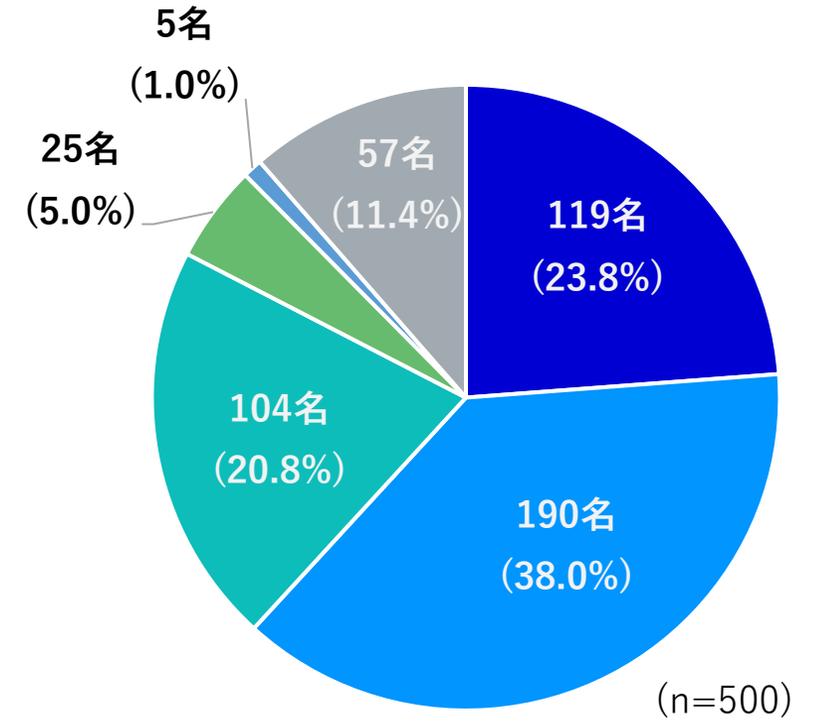
病院までの交通手段

- 徒歩・自転車
- 自家用車・バイク（運転手は問わず）
- 公共交通機関（電車、バス、タクシーなど）
- 病院、介護施設などによる送迎
- その他
- わからない



片道の通院時間

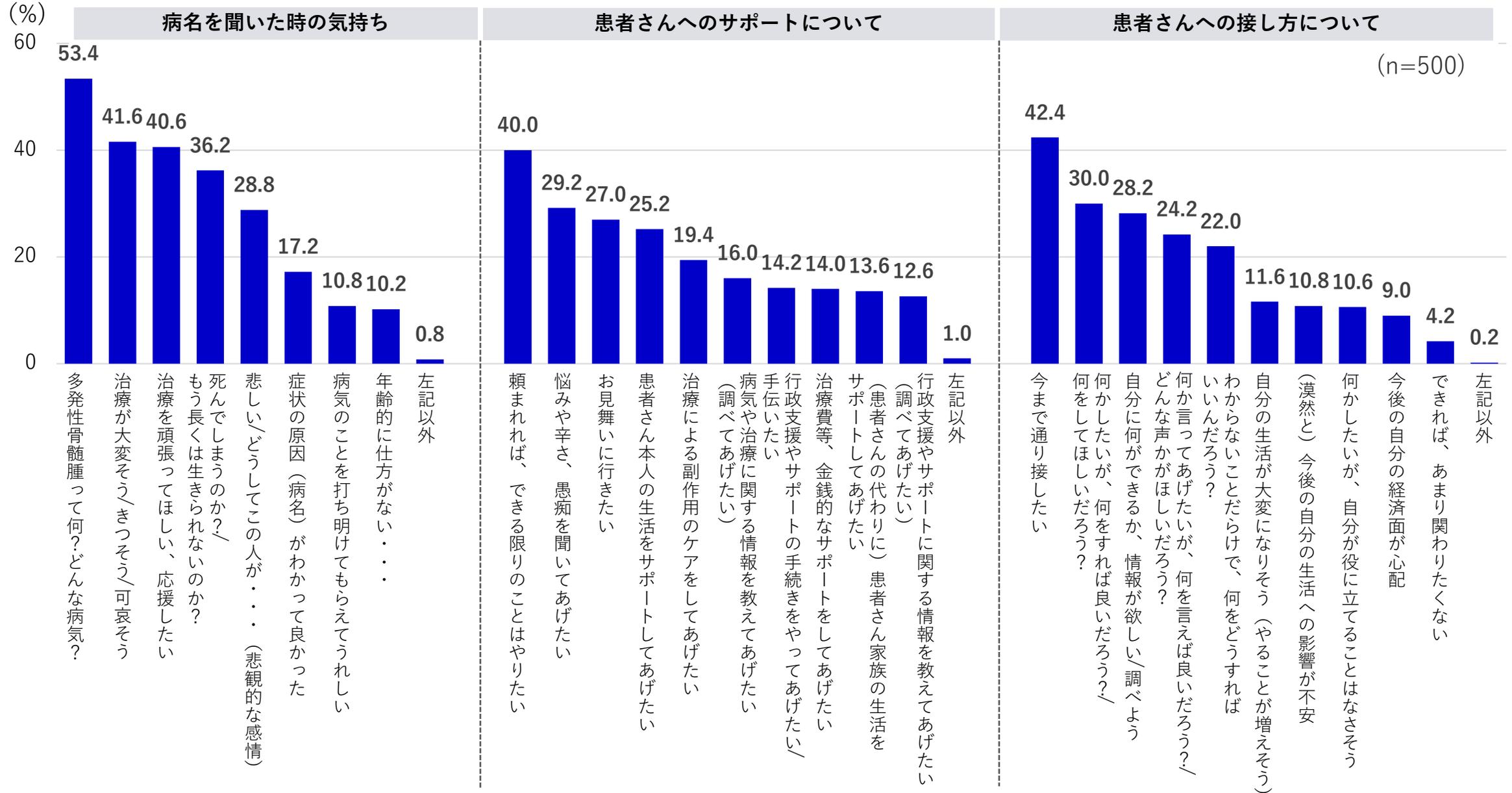
- 30分以内
- 1時間～1時間30分程度
- 3時間以上
- 30分～1時間程度
- 2時間程度
- わからない



| 調査結果

多発性骨髄腫だと聞いた時の気持ち

Q：患者さんが「多発性骨髄腫である」と聞いた時、あなたはどのようなことを思いましたか。あなたが思ったこと、感じたことを全てお教え下さい。



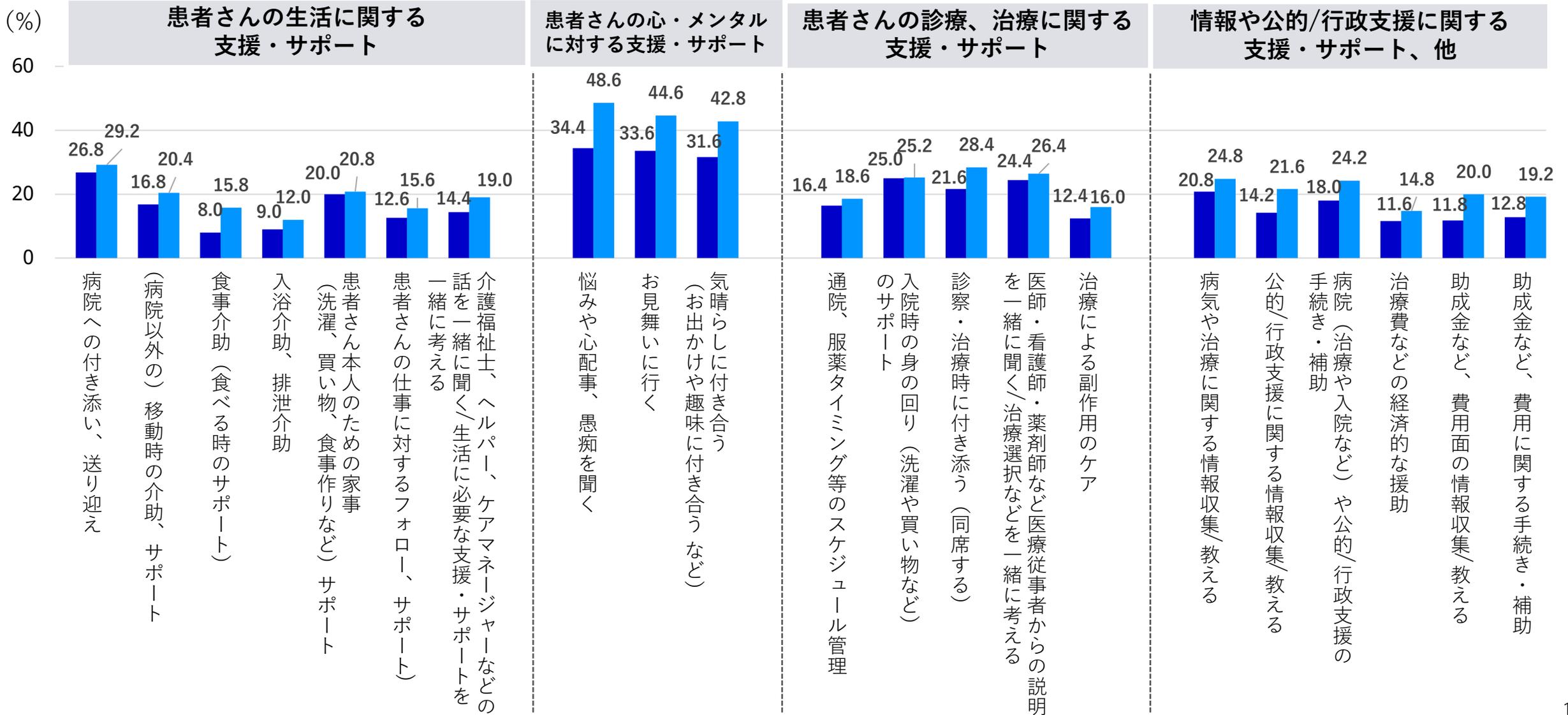
行ったことがあるサポート × お願いされたらやってあげたいと思うサポート

Q：多発性骨髄腫の患者さんのために、あなたが1度でも行なったことのある支援・サポートがありましたら **全て**お教えてください。

■ 行ったことがあるサポート

■ お願いされたらやってあげたいサポート

(n=500)

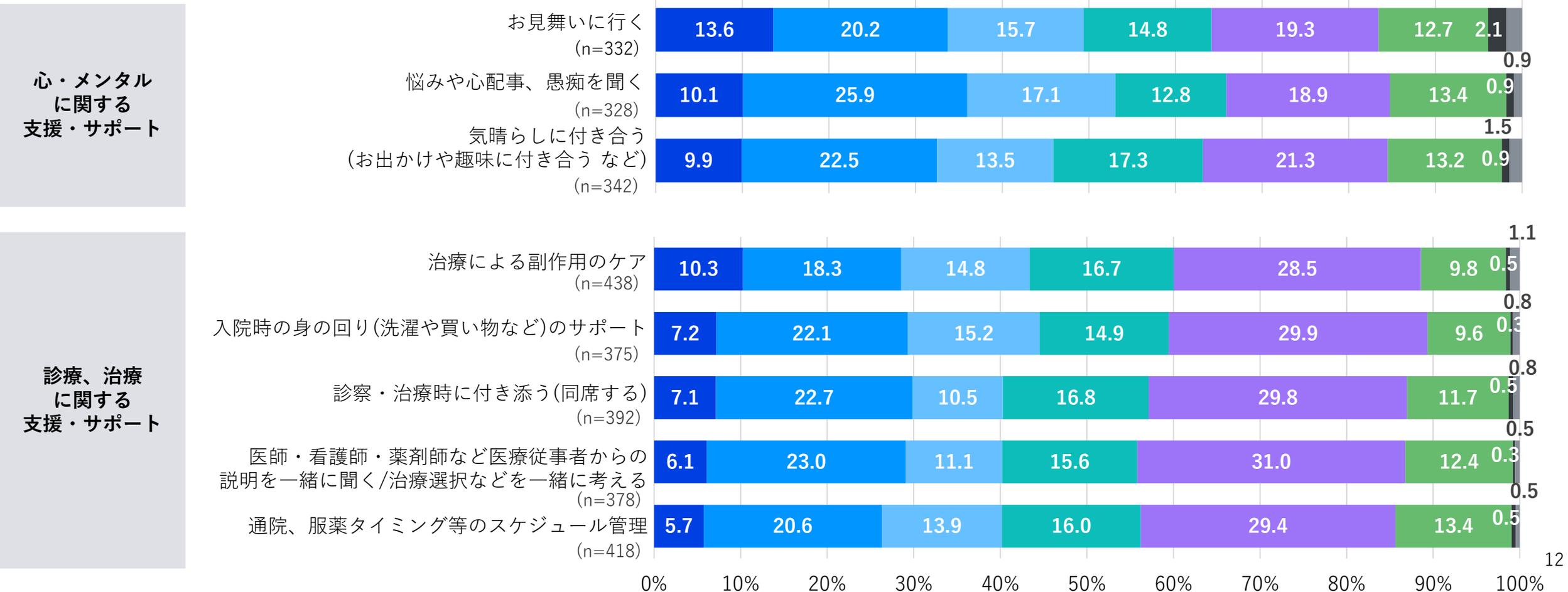


サポートを行わなかった理由（患者さんの心・メンタル/診療・治療に関する支援・サポート）

Q（あなたと交流があった）患者さんのために、あなたが行っていない支援・サポートについて、行っていない理由として最も当てはまるものを各1つずつ教えてください。

- 行おうと申し出たが、患者さんから断られた
- やり方がわからなかった
- （立場的に）自分がやることではないと思った
- その他
- （患者さんを含め）誰からも頼まれなかった
- 自分にはできないと思った
- （そもそも）そのような支援・サポートは思いつかなかった
- 必要ない/該当なし

nは、全対象者数から各支援・サポートを「行ったことがある」と回答した人を除いた数字



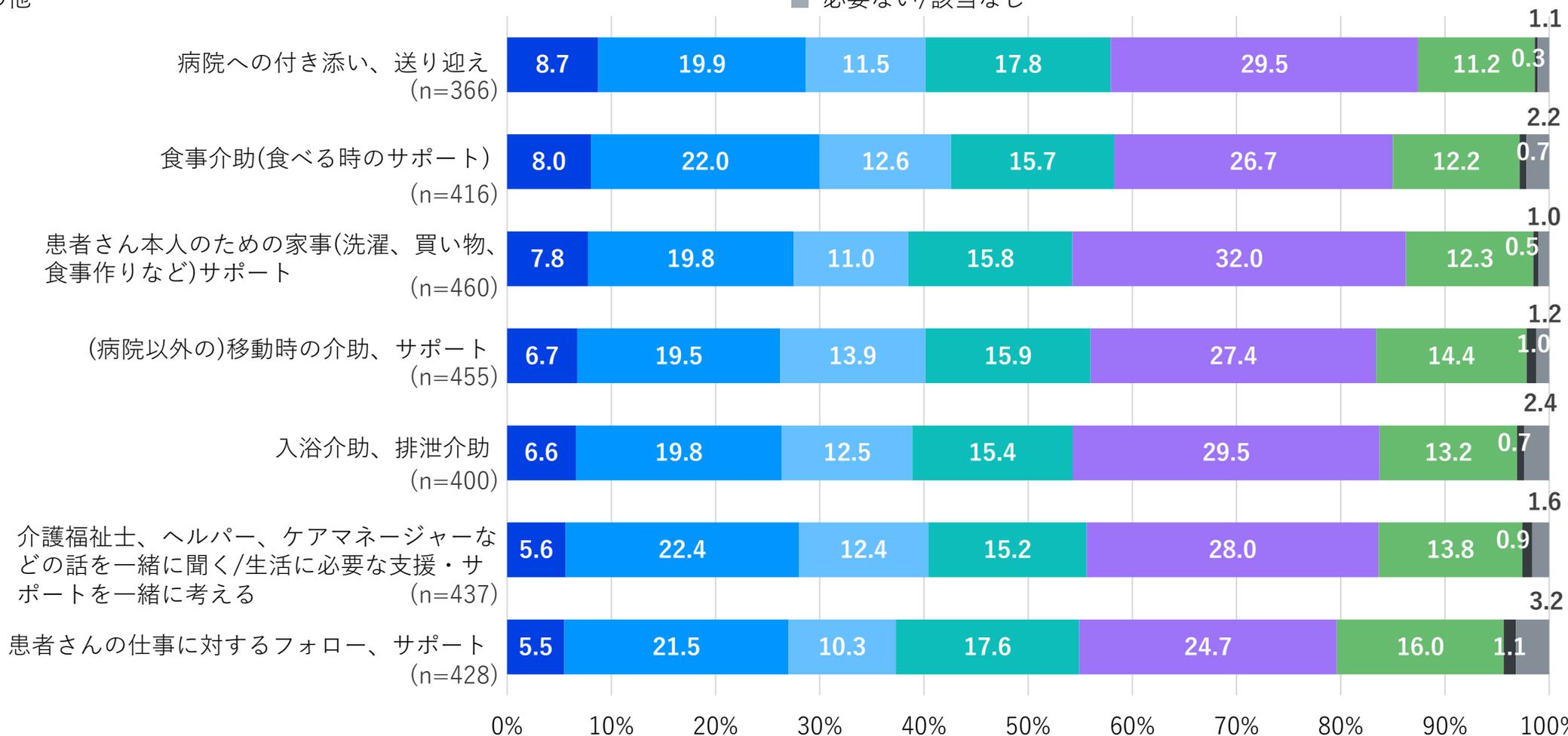
サポートを行わなかった理由（患者さんの生活に関する支援・サポート）



Q：（あなたと交流があった）患者さんのために、あなたが行っていない支援・サポートについて、行っていない理由として最も当てはまるものを各1つずつ教えてください。

- 行おうと申し出たが、患者さんから断られた
- やり方がわからなかった
- （立場的に）自分がやることではないと思った
- その他
- （患者さん含め）誰からも頼まれなかった
- 自分にはできないと思った
- （そもそも）そのような支援 サポートは思いつかなかった
- 必要ない/該当なし

生活に関する支援・サポート



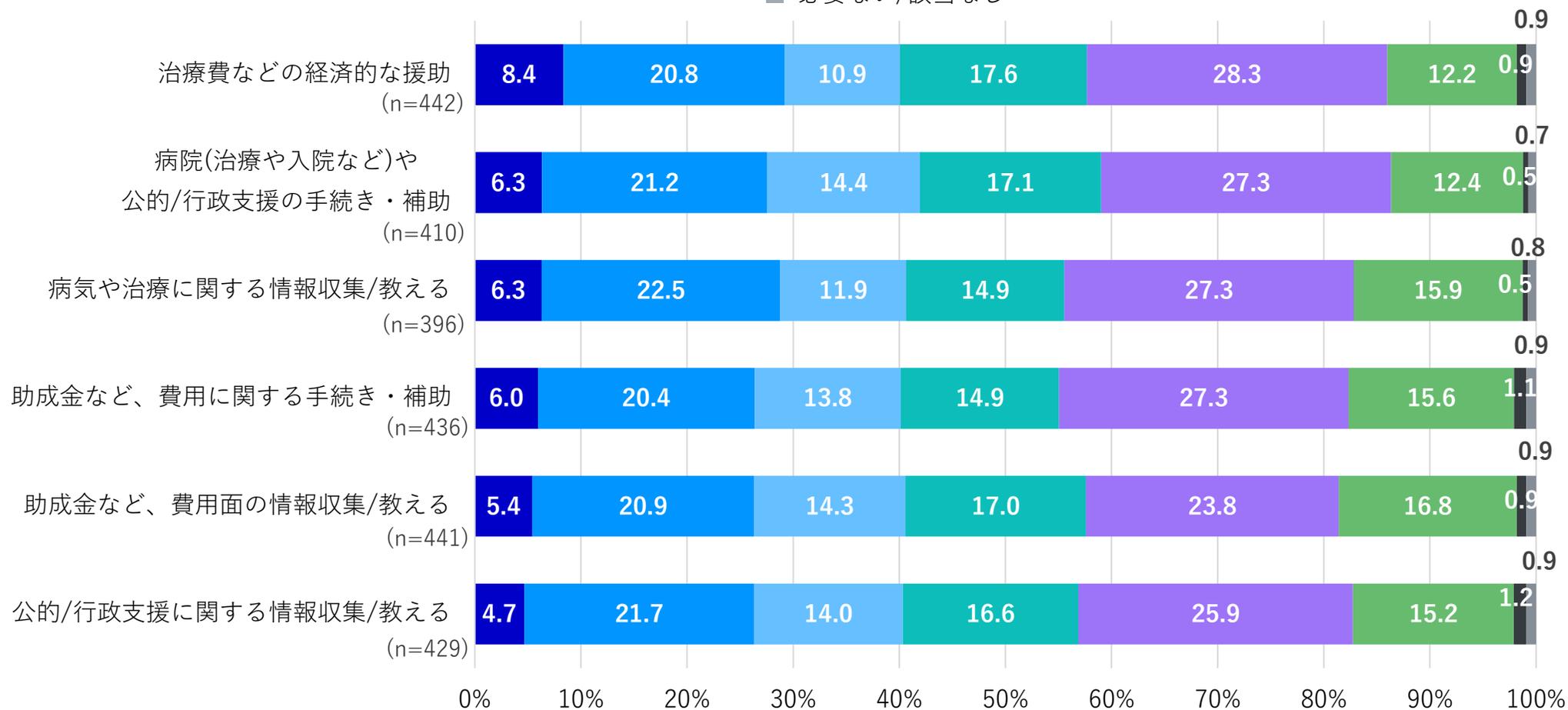
サポートを行わなかった理由（情報や公的・行政支援に関する支援・サポート）



Q：（あなたと交流があった）患者さんのために、あなたが行っていない支援・サポートについて、行っていない理由として最も当てはまるものを各1つずつ教えてください。

- 行おうと申し出たが、患者さんから断られた
- やり方がわからなかった
- （立場的に）自分がやることではないと思った
- その他
- （患者さん含め）誰からも頼まれなかった
- 自分にはできないと思った
- （そもそも）そのような支援・サポートは思いつかなかった
- 必要ない/該当なし

情報や
公的・行政支援
に関する
支援・サポート



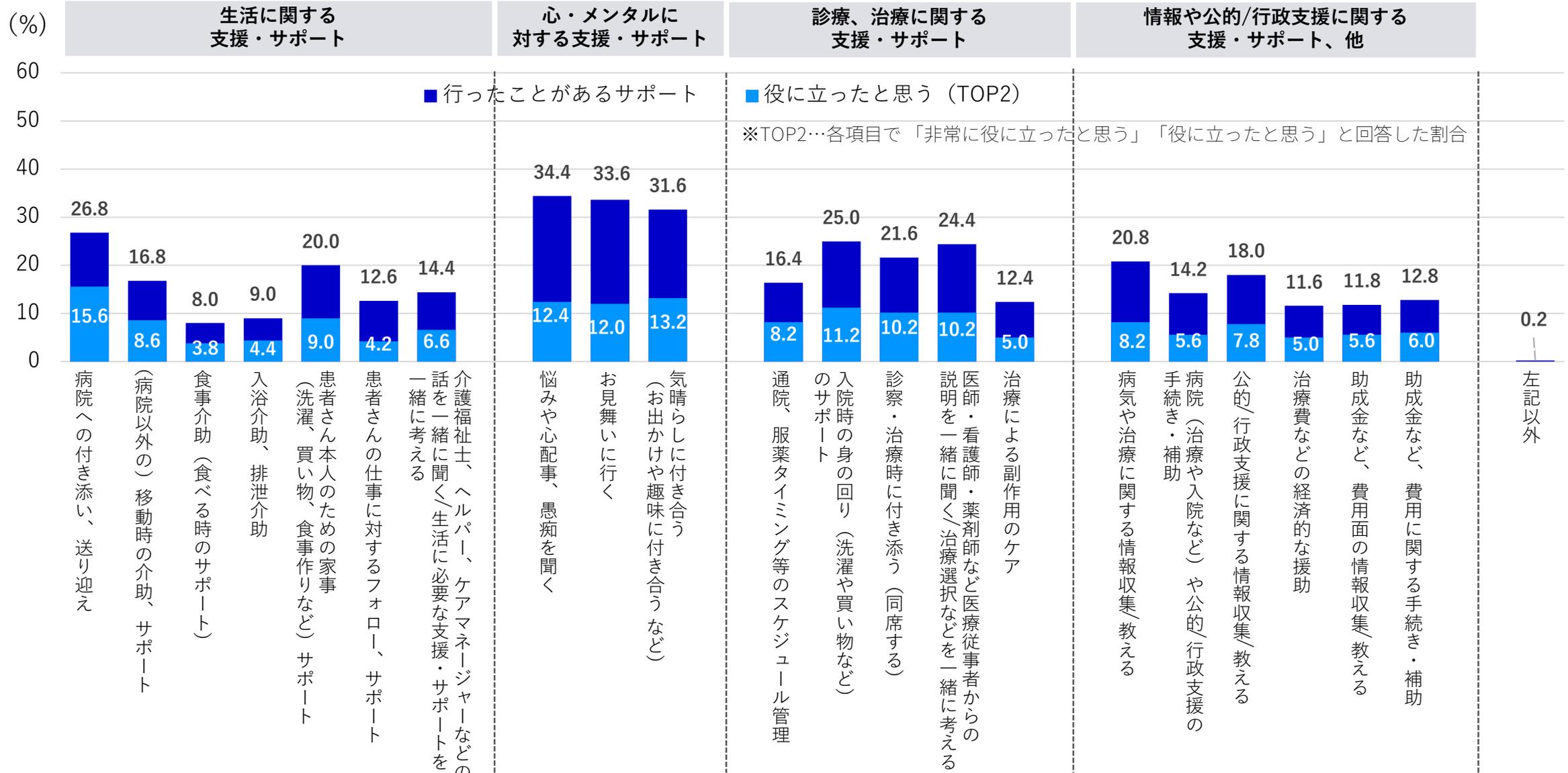
行ったことがあるサポート×多発性骨髄腫患者の役に立ったと思うか (TOP2)

Q：多発性骨髄腫の患者さんのために、あなたが1度でも行なったことのある支援・サポートがありましたら**全て**お教えてください。

Q：患者さんのためにあなたが行なった支援・サポートについて、患者さんにとってどの程度役に立ったと思いますか。

「全く役に立っていないと思う」～「非常に役に立ったと思う」の7段階評価でお答えください。

(n=500)

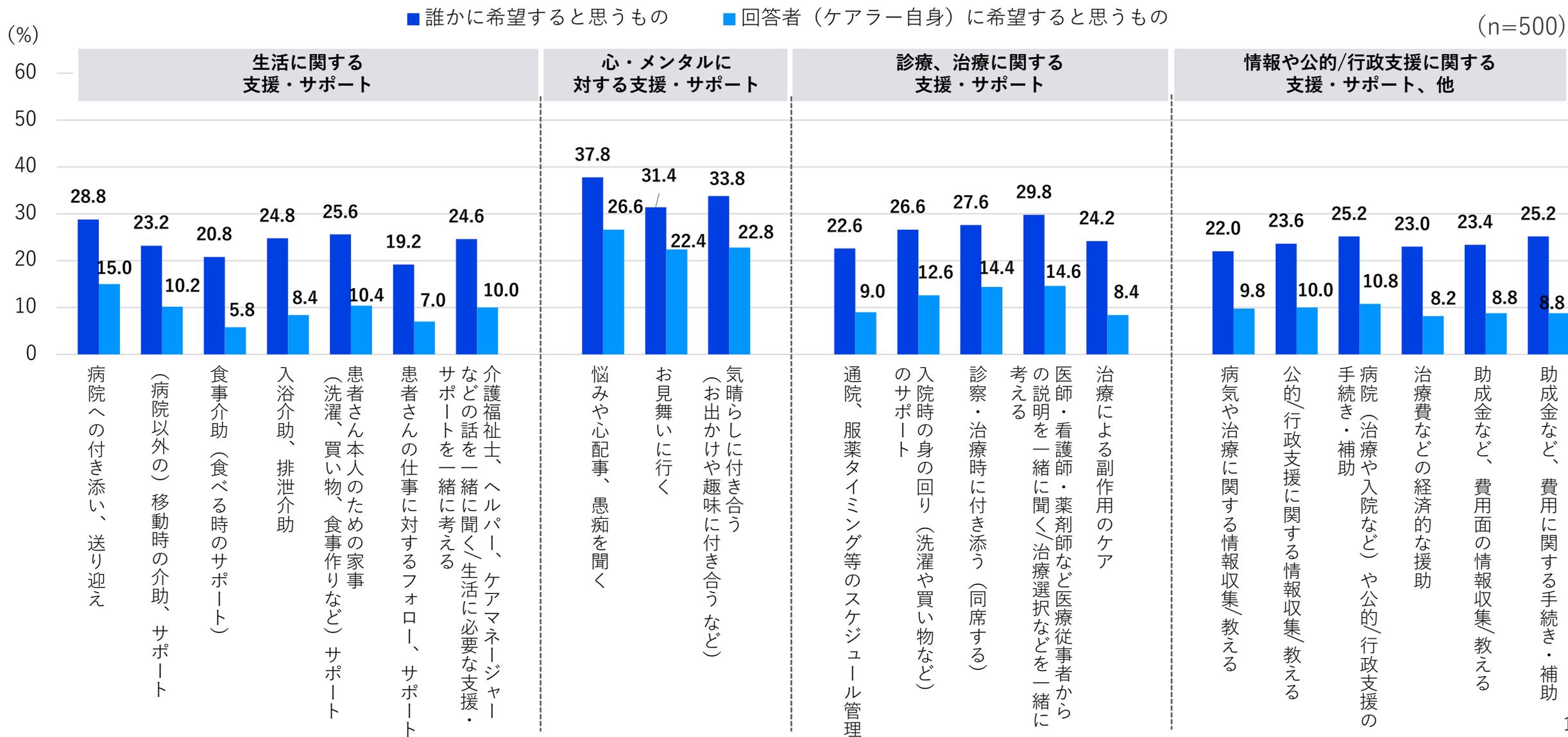


多発性骨髄腫患者が希望していると思うサポート



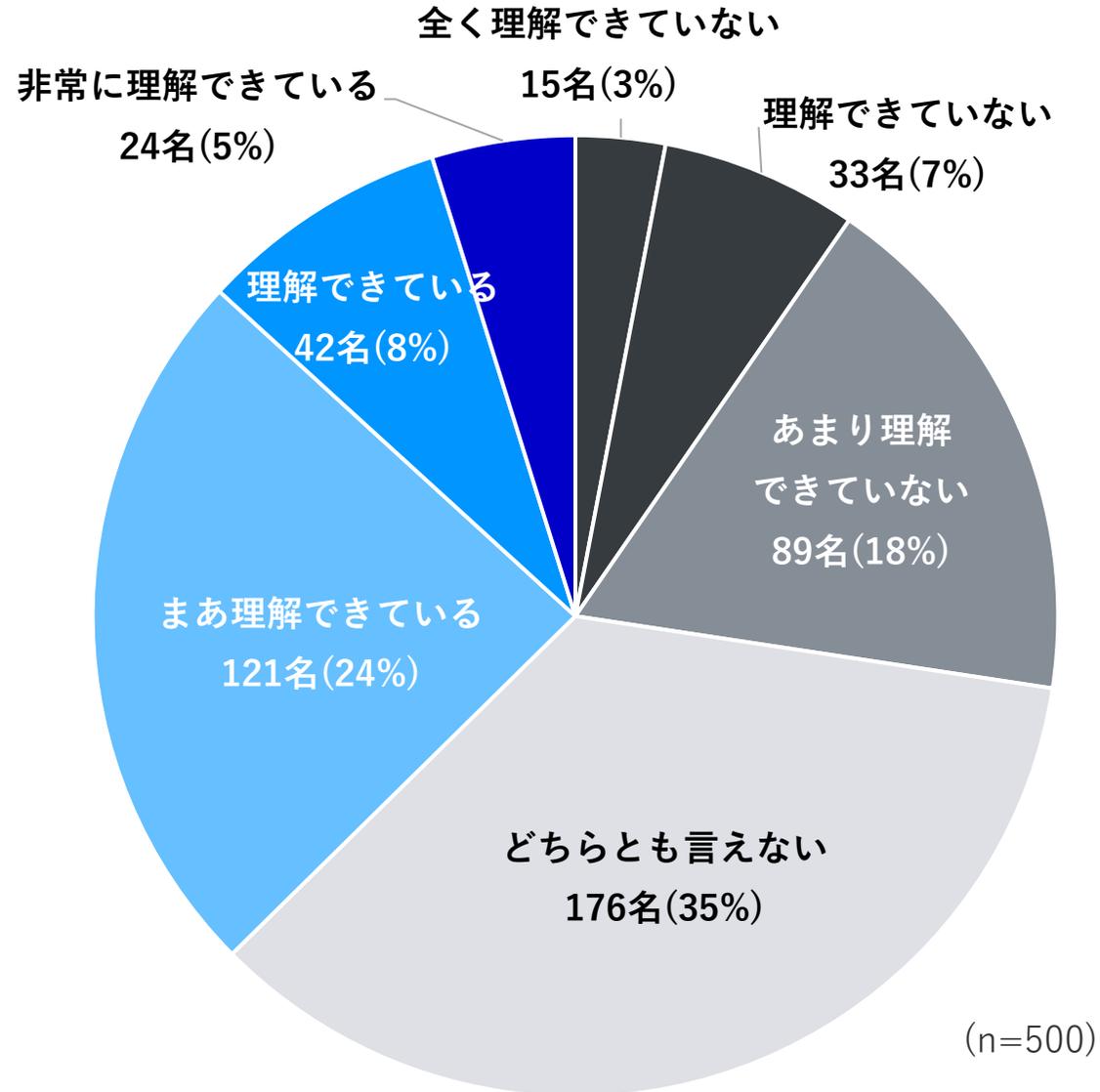
Q：あなたから見て、（あなたと交流があった）多発性骨髄腫の患者さんが、誰かにお願いしたい/期待する支援・サポートはどのようなことだと思いますか。あなたが思うものを下記から**全て**お教えてください。

Q：そのうち、（あなたと交流があった）多発性骨髄腫の患者さんがあなたにお願いしたい/期待する支援・サポートはどれだと思いますか。



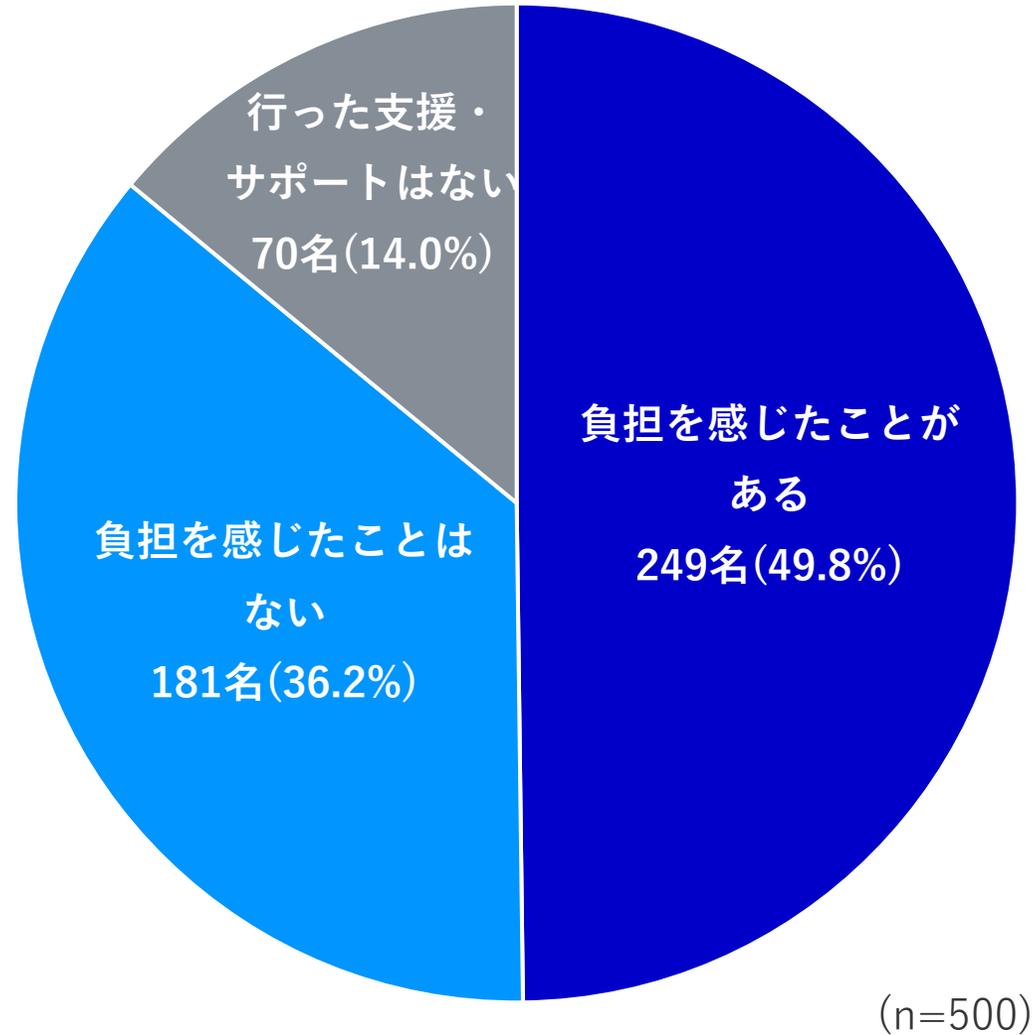
患者の思いや望むことを理解していると思うか

Q：あなたは、（あなたと交流があった）多発性骨髄腫の患者さんの思いや望むことをどの程度理解していると思いますか。「全く理解できていない」～「非常に理解できている」の7段階評価でお答えください。



多発性骨髄腫患者さんへの支援・サポートにおいて負担を感じたか

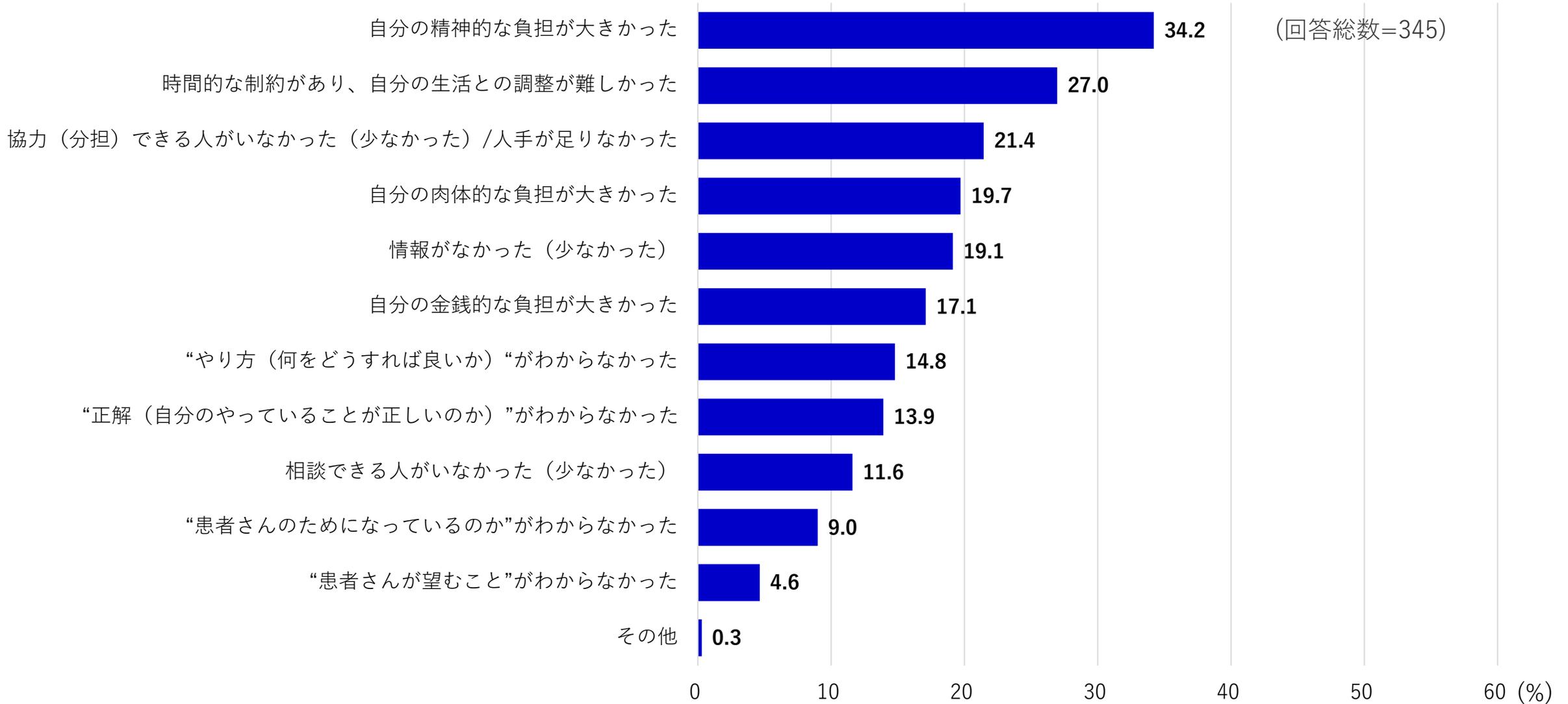
Q：患者さんのためにあなたが行なった支援・サポートのうち、あなたが負担に感じたもの（「大変だな」と感じたもの）はありましたか。



サポートで負担に感じた理由

Q：あなたが特に負担（大変）に感じたものについて、具体的にどのような負担（大変さ）を感じましたか。
あなたがより負担（大変）に感じた理由を各3つまで教えてください。

※「負担を感じたことがある」と回答した方（n=249）が行った支援・サポートは複数回答形式のため、回答総数=345となっています。

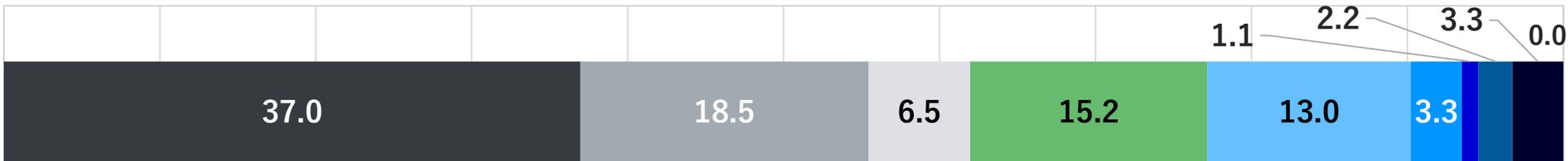


患者さんとの居住地の関係

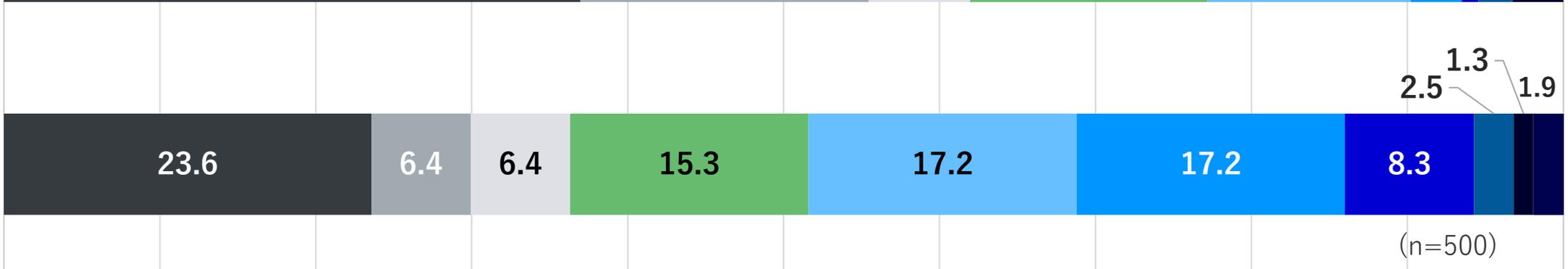


- 同居(敷地内同居)かつ同世帯
- 同居(敷地内同居)だが、別世帯
- 徒歩圏内に居住
- 電車/車等で30分以内の距離に居住
- 電車/車等で30～60分以内の距離に居住
- 電車/車等で60～90分以内の距離に居住
- 電車/車等で90～120分以内の距離に居住
- 電車/車等で120分以上の距離に居住
- 新幹線/飛行機/船が必要な距離の居住
- 居住地は知らない

サポートで精神的な負担が大きかった
(n=92)



上記を選択していない
(n=157)



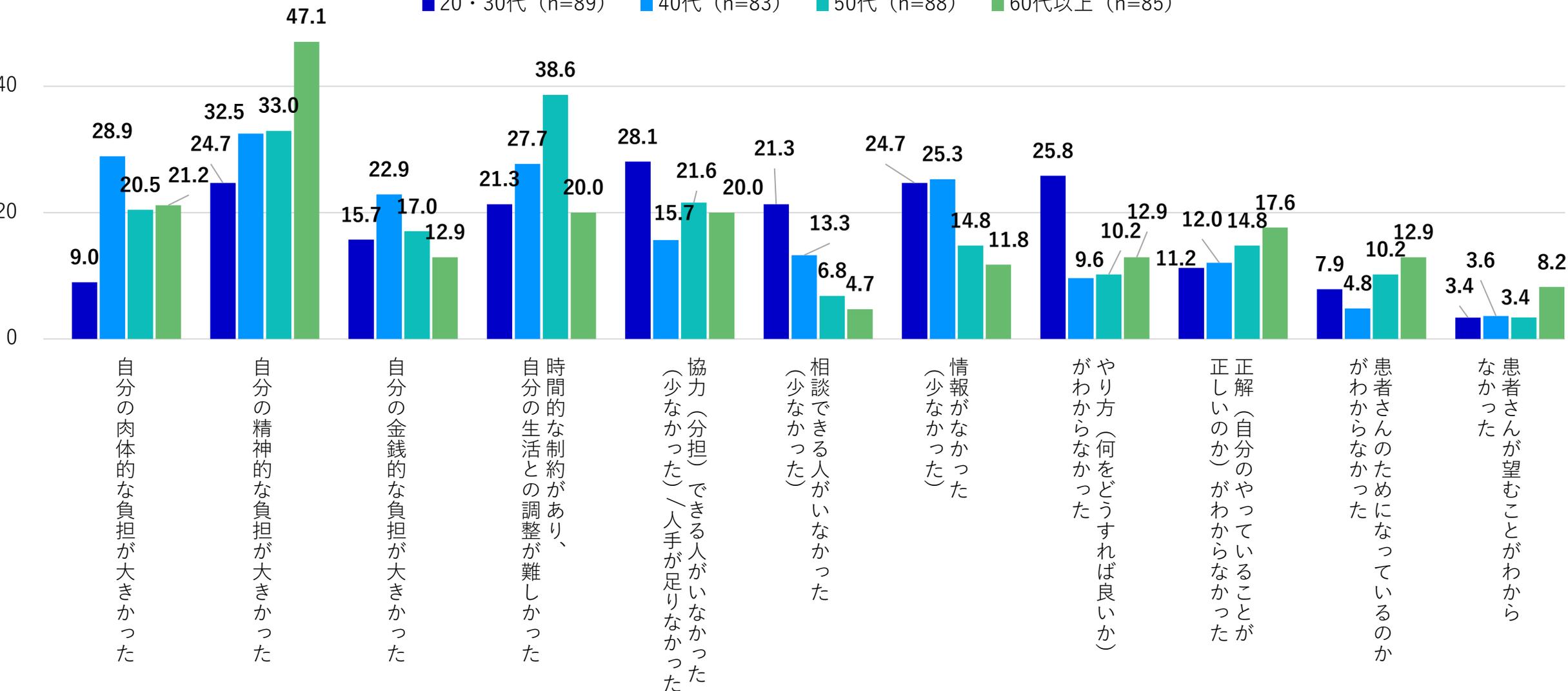
サポートで負担に感じた理由-回答者の年齢別



Q：具体的にどのような負担（大変さ）を感じましたか。あなたがより負担（大変）に感じた理由を各3つまでお教えてください。

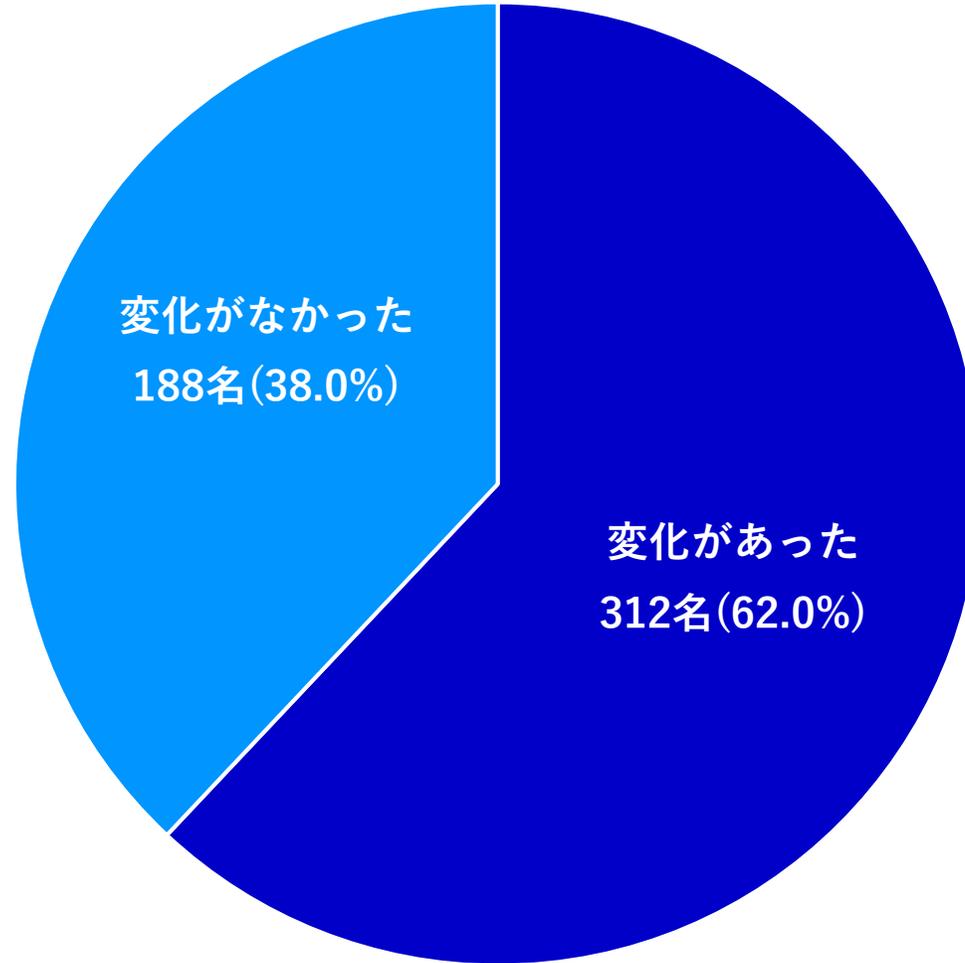
(%)
60

■ 20・30代 (n=89) ■ 40代 (n=83) ■ 50代 (n=88) ■ 60代以上 (n=85)



患者さんとの交流で考え方・気持ちは変わったか

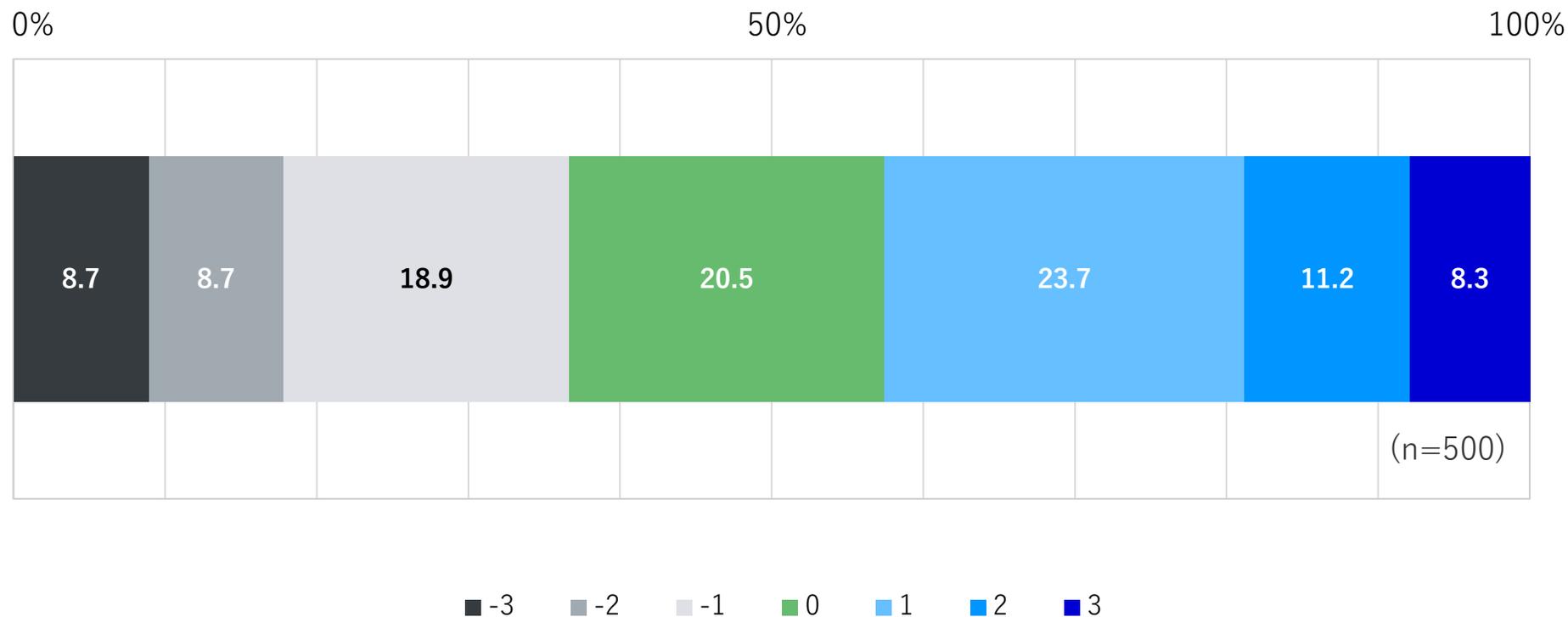
Q：あなたと交流があった多発性骨髄腫の患者さんが『多発性骨髄腫になった（多発性骨髄腫である）』ことにより（きっかけに）、あなたご自身の考え方・気持ち（人生観や価値観）に変化はありましたか。



(n=500)

患者さんとの交流で考え方・気持ちはどう変わったか

Q：あなたと交流があった多発性骨髄腫の患者さんが『多発性骨髄腫になった（多発性骨髄腫である）』ことにより（きっかけに）、あなたご自身の考え方・気持ち（人生観や価値観）は、あなたにとって、プラス/マイナスどちらに、どのくらい変化しましたか？



「がん（多発性骨髄腫）患者のケアラー500名の意識調査」の概要



調査手法	オンライン調査
調査地域	全国
調査対象	多発性骨髄腫患者さんと交流があった人
抽出条件	<ul style="list-style-type: none">● 18歳以上の日本国内在住者である● 過去1年間に、治療実施中の多発性骨髄腫患者さんと交流したことがある(対面以外の電話やメール、SMSなどの交流のみも含む)
除外条件	<ul style="list-style-type: none">● <u>多発性骨髄腫やがんに関して、治療や患者支援・介護を職業としている</u>● <u>ボランティア活動として、多発性骨髄腫患者さんと交流した</u>（家族/親族・友人・知人ではない）、等
サンプル数	合計500件
実査期間	2025年4月21日～2025年5月6日